

事務事業名	八田保育所維持管理事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5141							
			所属課室	八田保育所		課長名	長谷部 成才							
			所属担当			担当者名	長谷部 成才							
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目		
		17	社会福祉の充実		01	一般	03	02	04	03	00	5		
政策		28	児童福祉の充実		事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金								
施策				法令根拠		児童福祉法、南アルプス市立保育所条例、南アルプス市立保育の実施に関する条例								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度)													
	☐ 期間限定複数年度 (年度)													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料・通信運搬費・施設維持管理委託料・原材料費(砂場用砂)等の直接児童に関わらない、施設を維持管理していく経費。					事業費の主な内訳 (22年度)								
						項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)		
						消耗品費		116		手数料		32		
						燃料費		193		施設維持管理委託		509		
						光熱水費		3,407		使用料及び賃借料		91		
						修繕料		377		原材料費		15		
					通信運搬料		185		計		4,925			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	・維持管理事業にかかる予算の執行 ・各種委託契約事務
23年度活動予定	・維持管理事業にかかる予算の執行 ・各種委託契約事務
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
・施設の維持管理	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
・入所園児が、安全な施設として日々の園生活を過ごせる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
・安心して子育てできる保育環境づくり。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 委託費予算額	千円
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 施設数	箇所
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 修繕費の予算額	千円
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 入所児童数	人
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	1,852	4,925	5,064	5,459	5,459	5,459	
	事業費計 (A)			千円	1,852	4,925	5,064	5,459	5,459	5,459	0
	人件費	正規職員従事人数		人							
		延べ業務時間		時間							
		人件費計 (B)		千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)			千円	1,852	4,925	5,064	5,459	5,459	5,459
活動指標			アイウ	千円	509.0	509.0	509.0	509.0	509.0	509.0	
対象指標			アイウ	箇所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
成果指標			アイウ	千円	427.0	377.0	400.0	500.0	500.0	500.0	500.0
上位成果指標			アイ	人							

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	八田保育所は、昭和53年に新築されて、平成14年に改修された。本保育所施設運営維持していくための事業経費。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	本施設が改修されてから、9年が経過し、屋外施設(遊具等)も含めて改修が必要になってくる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	子供の安全面を考え安心して保育できる施設であること。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	施設・遊具等の自主点検を毎日行い安全で効果的な運用に努めている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	プールの改修を行い、コンクリートから、グラスファイバー製の既製品に変更し、又温水シャワーを取り付けた。

事務事業名	八田保育所維持管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	八田保育所
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 将来を担う子供たちに対し、夫婦共働き世帯に対処すべく、子供の保育を確保するための施設維持事業であり、児童福祉法に基づき実施しており、政策体系及び施策に基いた形となっている。		
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 国が進めていく幼保一体化のこども園とも考え、施設の老朽化又、適正な配置計画もあり、いろんな方面から、広い視野に基づいて、検討していく必要がある。		
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 今後なお少子化が進むことが予想され、施設の再配置が考えられるが、現段階では、適正であり必要である。		
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 施設の維持管理であるため、限られた予算の中で、効率的に事業を進めていく必要がある。		
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない		
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 現在170名の児童を措置している。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 施設運営のための維持管理事業費なので休止・廃止は出来ない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設運営のための維持管理事業費なので削減の余地はない。また、施設の老朽化に伴い修繕費等の事業費、は増える傾向になるのではないかと。		
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設運営のための維持管理事業費なので削減の余地はない。		
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 施設運営のための維持管理事業費なので適正であり、見直す余地はない。		

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	本事業は、児童が安全に健やかに過ごせる保育環境の整備と充実を図るために必要な経費である。事務事業評価として適正である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①公共施設の適正配置計画に基づいた保育所の統廃合及び民間委託。																								
②認定こども園の設置																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①地域や保護者の理解や合意。		成果優先度評価結果	⑫																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					